

### 3. 仙台市のまちづくりの方向性

#### 1. 都市空間形成と土地利用の基本方針

##### (1) 都市空間形成の基本方針

###### 【機能集約型市街地形成】

- 市街地の拡大は抑制することを基本とし、土地利用と交通政策の一体的推進と暮らしに関連する施策の連携により、都心、拠点、都市軸などへ都市機能を集約する。
- 郊外区域の暮らしを支える都市機能を維持・改善することで地域再生を図る。

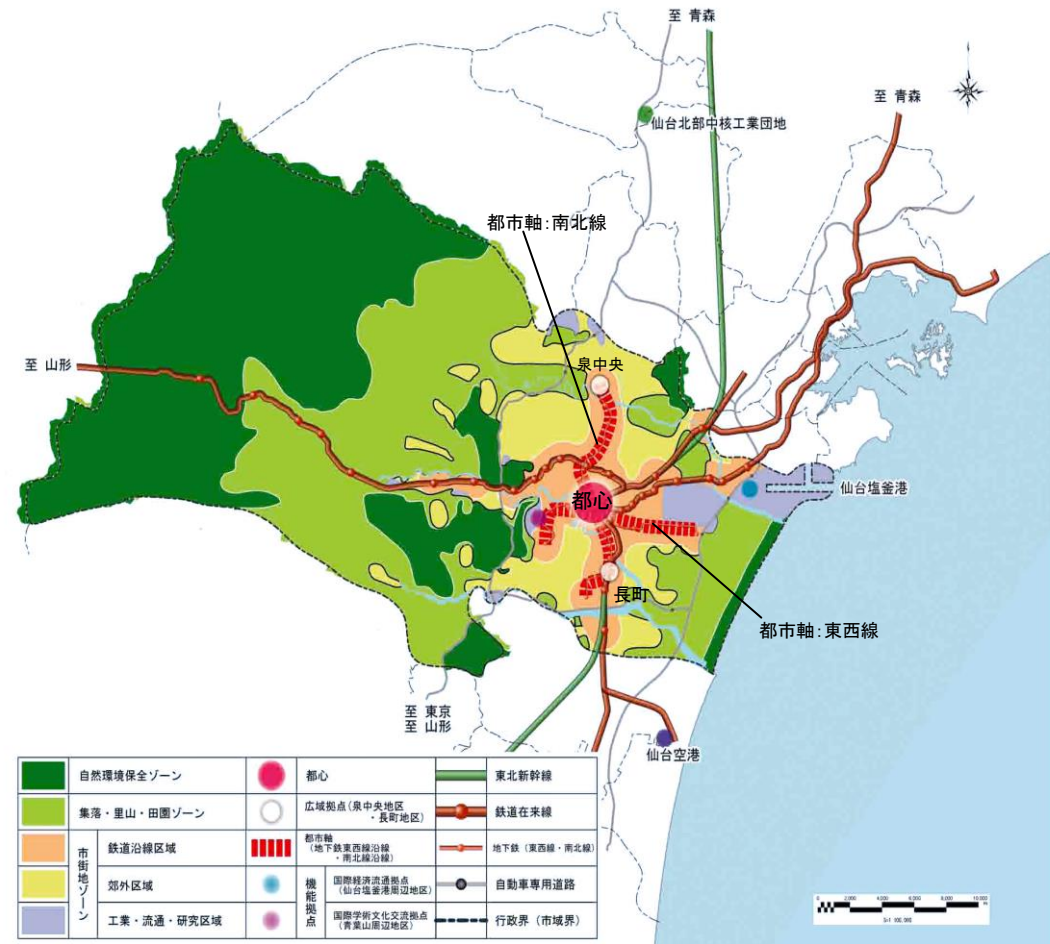
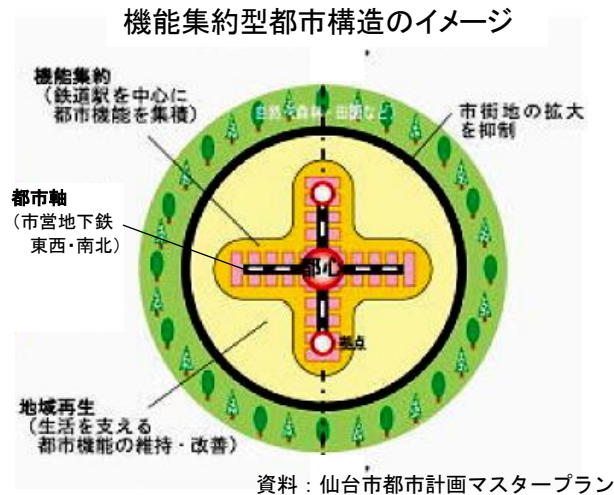
##### (2) 土地利用・都市構造の基本方針

###### 【土地利用の基本方針】

- 都市空間形成の基本的な考え方に基づき、都市空間を形成する土地利用の基本方針を自然環境保全ゾーン、集落・里山・田園ゾーン、市街地ゾーンの3つに区分して定める。

###### 【都心、拠点、都市軸形成の基本方針】

- 仙台駅を中心とする「都心」のほか、泉中央及び長町を「広域拠点」、仙台塩釜港周辺と青葉山周辺を「機能拠点」、さらに東西と南北の地下鉄駅を結ぶ地下鉄沿線を「都市軸」と位置づける。



資料：仙台市都市計画マスタープラン

#### 2. 都市軸とまちづくり (東西線沿線まちづくりの基本方針)

(1) 東西線開通に伴う沿線まちづくりの基本方針であるが、復興の先を見据えた「進化する都市・仙台」を目指す

【4つの方針】 特に方針2で、南北軸も含めた方向性を提起している

方針1 「安全安心で暮らしやすい街」の創造

方針2 「魅力的で楽しい街」の創造

市民が充実した余暇を過ごし、来訪者が都市的な楽しみを味わえるような、新たな魅力を持った街を創る

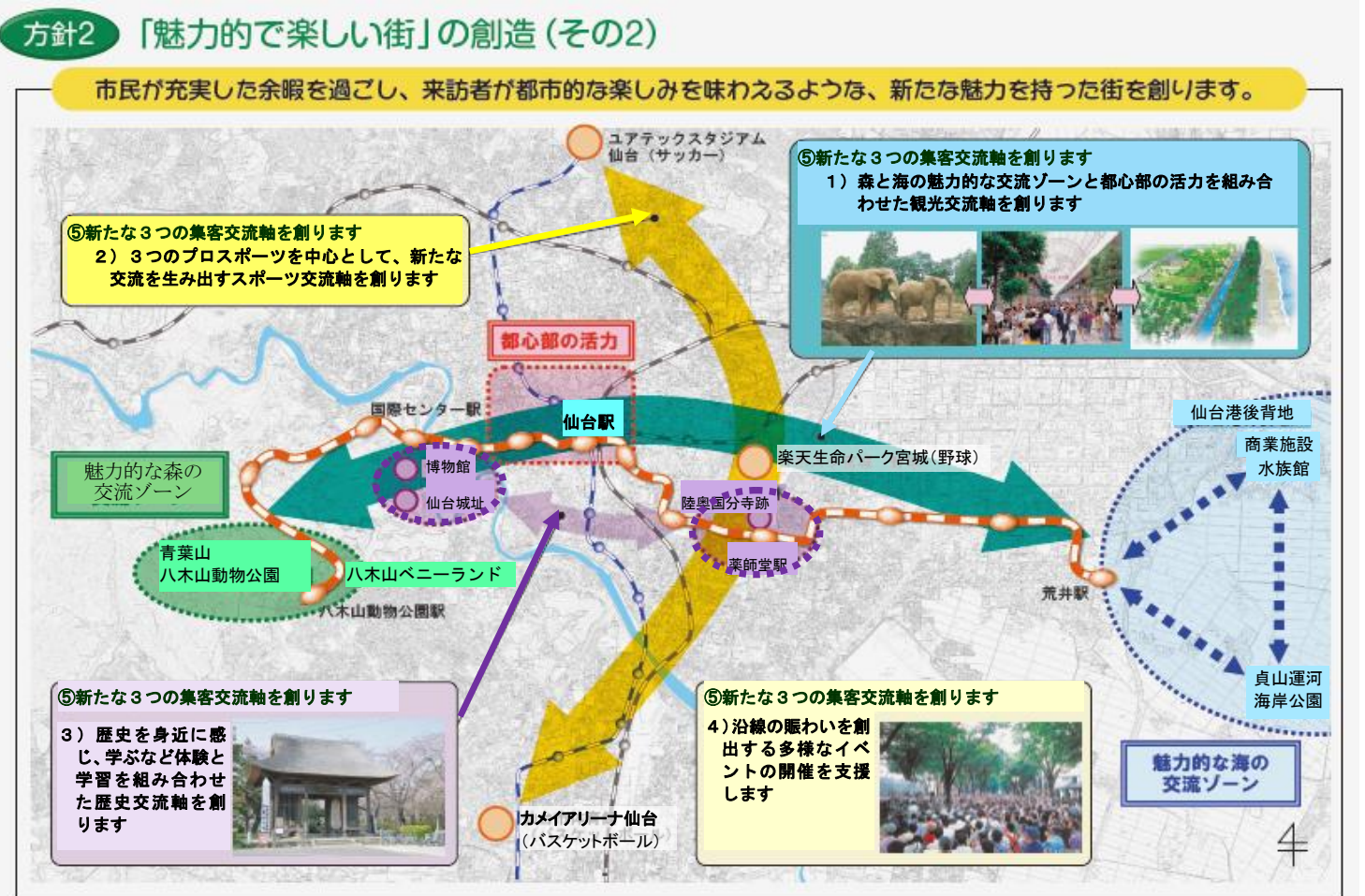
方針3 「活力にあふれた元気な街」

方針4 「個性的で美しい街」の創造

(2) 方針2 「魅力的で楽しい街」の創造：展開方針⑤新たな3つの集客交流軸を創り、本市の新しい魅力を内外に発信

○ 東西線や南北線の沿線にある、文化、スポーツ等の施設を組み合わせ、連携した取組みを行うことによって、新たな3つの集客軸を創り、本市の新しい魅力を市内外に発信していきます。

- 1) 森と海の魅力的な交流ゾーンと都心部の活力を組み合わせた観光交流軸を創ります (東西・青色)。
- 2) 野球、サッカー、バスケの3つのプロスポーツを中心として、沿線のスポーツ施設相互の連携を進めることにより、新たな交流を生み出すスポーツ交流軸を創ります (南北・黄色)。
- 3) 仙台城址や陸奥国分寺跡、七郷堀などで仙台の歴史を身近に感じ、博物館で学ぶなど体験と学習を組み合わせた歴史交流軸を創ります (東西・紫色)。
- 4) 沿線の賑わいを創出する多様なイベントの開催を支援します (東西・南北軸上)。



資料：東西線沿線まちづくりの基本方針